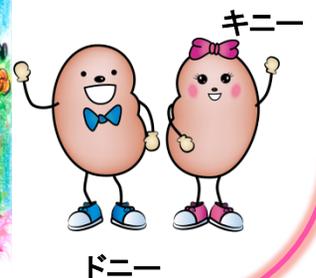




## 公益財団法人 いばらき腎臓財団って？

みなさん、初めまして！  
私たち、いばらき腎臓財団  
のキニー、弟のドニーだよ。

僕たち双子の姉弟なんだよ  
よろしくね！



私たちがいばらき腎臓財団について説明するね。

今年3月までは「財団法人いばらき腎臓バンク」という名称だったんだ。

つくば市にある財団で、腎臓移植の理解者を増やすための活動や、県内の学校に講師を派遣していのちの大切さを伝える講演会も行っているよ。

「ねこのせぶちゃん」おむつをはいたねこ」という絵本を制作し県内の全小学校に寄贈もしているんだ。

それと、慢性腎臓病（CKD）という病気を予防するための講演会や、健康イベントも開催しているんだ。つくば市の「健康マイレージ」にも協賛しているよ！



絵、文：桜庭 巧

## 茨城県内初の 脳死下による 臓器提供

平成26年3月、初めての提供者となったのは、脳出血で県内の病院に入院していた30歳代の女性。家族の承諾により、臓器の提供が行われた。各臓器は全国7名の待機者に移植された。

\*ご家族のコメント\*

私たちは苦しんでいる人たちの役に立ち、また臓器だけでもどこかで生きていて欲しいと思い、提供することを決断しました。将来、私たち家族が移植を受ける立場となり皆様に助けていただくことになるかもしれない。苦しんでいる人がいれば、誰かが手を差し伸べ、お互い助け合うことができ、社会になるよう、この提供がつながることを願っています。



# グリーンリボンについて知っていますか？

Beens  
ビーンズ



緑は「成長と生命のつながり」を意味していると言われ、臓器提供者と移植を必要としている待機患者の「いのちの繋がり」という意味をこめてつけられた移植のシンボルマークです！

臓器提供は、脳死後あるいは心臓が停止した死後にできます。平成22年に改正臓器移植法が、全面施行され、生前に書面で臓器を提供する意思を表示している場合に加え、ご本人の臓器提供の意思が不明な場合もご家族の承諾があれば臓器提供できるようになります。

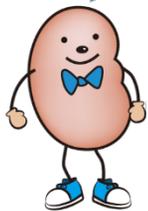
**慢性腎臓病(CKD)罹患者増加中**  
20歳以上人口の8人に一人は罹患していて、第二の国民病と言われています！全国に1330万人、茨城県でも増加しており悪化すると腎不全となり、透析をするか、移植をすることになってしまいます。

## 特別企画

# 記念品プレゼント！

公益移行と25周年を記念し、皆様にプレゼントを用意しています。詳しくは財団ホームページを見てね！

みんな応募してみて！ お待ちしていま～す♪  
<http://www.iba-jinzou.com/201404gougai/>



財団ホームページに遊びに来てね



いばらき腎臓財団

検索

いばらき腎バンクは平成26年4月1日、「公益財団法人いばらき腎臓財団」と改名し新たにスタート致しました。茨城県を拠点に、これまで以上に臓器移植の推進と慢性腎臓病予防に寄与できるよう活動して参る所存です。より一層ご支援賜りますようお願い申し上げます。  
理事長 大河内信弘  
(筑波大学消化器外科教授)



Ibaraki Kidney Foundation